

2015/07/09

皆様こんばんは！

雨のなか、ようこそいらっしゃいました。ご出席を感謝いたします。

今日は、東京御苑 RC の誇るべき若き弁護士、茨木拓矢会員の卓話があります。皆様としっかりと聞いて勉強したいと思います。

東京御苑 RC の会員平均年齢は 56 歳ちょっと超えるくらいなのですが、茨木さんは 32 歳で、彼がいなくなれば平均年齢が 58 歳になるんじゃないかと思えます。年長者の皆様は若い会員を大事に育てていくということを心に留めていただきたいと思います。

厚生労働省の年金も赤字運営で困っています。どうして赤字で困っているかと言いますと、いわゆる団塊の世代の人口が多いということなのです。今年生まれた人は 100 万人ちょっと超えるくらいですが、その頃は今と比べると 2 倍近い方がお生まれになっています。年金をもらう人が 2 倍になって年金を支払う人が半分になってしまった。これが問題になるのは当たり前の事です。

私たちのロータリークラブもまた同じような現象があります。まもなく 7 月 1 日付、第 2580 地区の会員数が発表になりますが、残念ですが 3,000 名は切るだろうと言われていています。その中で 70 歳を超える方が 3 分の 1 くらいいらっしゃるのです。その方達が 10 年たったら全部リタイアされる事になります。そして毎年 100 名ずつ自然に減っていき、加えて理由退会者が毎年 100 名位いるのです。でも新規入会者実績 100 名は実績として毎年あります。私の予想ではこれから 毎年 3000 名 - 200 名 (老齢退会者 + 理由退会者) + 100 名 (新規入会者) であり、このまま何も策を講じないと 10 年後には 2580 地区は、会員総数が 2,000 名になるのです。結果として地区分担金などが 1.5 倍に成らざるを得ないのです。

そうならないためには地区全体で、もっと明るく楽しいロータリー運動を展開しなくてはなりません。そして社会普及いわゆる増強活動を精力的に行っていく必要があるのではないかと思います。

加えて運営経費の切り詰めが要求されます。特に事務局経費の節減は、年会費や入会金の切り下げを可能としますし、一般社会が受け入れ易い会費の設定はロータリー運動の社会繁栄を促します。

去年も地区全体として 150 名くらいの方がお辞めになって、100 人くらいの方がお入りになって、その中で東京御苑 RC もできた。ですから入退会者は同じで去年並になると思っています。でも来年、再来年とそう簡単にロータリークラブは

コロコロと鶏の卵じゃありませんから創立出来るわけではありません。やはり全体として社会普及をやっていくことが必要です。10年後は団塊の世代、70歳以上の先輩がリタイアされるということを念頭に置き、同時に私どものクラブで言えば、張さん・茨木さん・日高さんのような若い世代にどんどん活躍していただいて運動を広げていかないと、来年はクラブの平均年齢が57歳、再来年は58歳になっていきます。

では平均年齢56.8歳を保つにはどうしたらいいかというと、私、計算してみました。クラブに退会者が出ない事を前提にすれば、40歳のロータリアンを3人ほど毎年入会して頂かないと平均年齢を保つことができない。何もしなければ10年後は66歳の平均年齢のクラブになる。数学的にもはっきりしているのです。

とにかく若い方をより大事にし、育て・敬って、謙虚に老いては若い人に従うというくらいの気持ちで、我々もクラブを運営していくようにすれば、永遠に繁栄するクラブ運営ができると思います。

そしてこの夏、秋としっかり勉強しましょう！それが大事です。財団ひとつ取りましても10個も20個も、数多くのプログラムが重なっているんですね。事業計画にしてもそのベテランをクラブとして育てていかないといけません。ロータリー財団委員会だからやってください、国際奉仕委員会をやってくださいといってもそう簡単にできるものではありません。

親クラブを始め、いろいろなクラブの先輩に学んで、財団に関わる事業ができるような力をつけていかなければいけないと思います。今日、財団セミナーでも、訳のわからない話ばかりだったと思いますが、とにかく何回も読み返していただいて、みなさんの目でプロジェクトの提案をしていただければ、私は何も力はありませんが、できることはお手伝いさせていただきたいと思います。長話をしてしまいました、茨木さんの卓話もたっぷりと聞きたいものですから、私の話はこの辺で終わりたいと思います。〈終わり〉